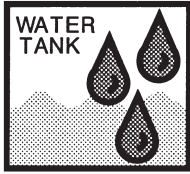




冷却水循環装置



PU-301形

WATERTANK

取扱説明書

=安全のしおりと取扱い操作=

取扱説明書番号

PU-301形冷却水循環装置…2U6090

この取扱説明書をよく
お読みのうえ正しく
お使いください。




- この冷却水循環装置の保守点検・修理は安全を確保するため、有資格者または溶接機をよく理解した人が行ってください。
- この冷却水循環装置の操作は、安全を確保するため、この取扱説明書の内容をよく理解し、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。
- 安全教育については、溶接学会・溶接協会および関連の学会・協会の本部や支部主催の各種講習会、溶接関連の各種資格試験などをご活用ください。
- お読みになったあとは、保証書とともに関係者がいつでも見られる場所に大切に保管していただき、必要に応じて再度お読みください。
- ご不明な点は販売店または営業所にお問い合わせください。また、サービスに関するお問い合わせは、ダイヘンテクノスの各サービスセンターへご連絡ください。
お問い合わせ先の住所、電話番号等はこの取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

目次

① 安全上のご注意	1
② 安全に関して守っていただきたい事項	2
③ 使用上のご注意	4
④ 各部の名称	5
⑤ 運搬と設置	5
⑥ 接続方法と安全のための接地	6
⑦ 操 作	7
⑧ 別 売 品	8
⑨ メンテナンス	10
⑩ パーツリスト	11
⑪ 仕 様	13
⑫ アフターサービスについて	14



① 安全上のご注意

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書に示した注意事項は、機器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- この冷却水循環装置は安全性に十分考慮して設計・製作されていますが、ご使用にあたってはこの取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。これらを守らずに使用しますと死亡または重傷などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。
- 機器の取扱いを誤った場合、いろいろなレベルの危害や損害の発生が想定されます。この取扱説明書の記述では、そのレベルをつぎの3つのランクに分類し、注意喚起シンボルとシグナル用語で警告表示しています。これらの注意喚起シンボルとシグナル用語は、機器の警告ラベルにも全く同じ意味で用いられています。

注意喚起シンボル	シグナル用語	内 容
	高度の危険	取扱いを誤った場合に、きわめて危険な状態が起こる可能性があり、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	危 険	取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こる可能性があり、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注 意	取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こる可能性があり、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- ・注意喚起シンボルは、一般的な場合を示しています。
- ・上に述べる重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをいいます。また、中程度の障害や軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要しないけが・やけど・感電などをいい、物的損害とは、財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害をいいます。

さらに、機器を取り扱ううえで、「しなければならないこと」、「してはならないこと」を下記のとおり表示しています。

	強 制	しなければならないこと。 たとえば、「接地工事」など。
	禁 止	してはならないこと。

- ・シンボルは、一般的な場合を示しています。

② 安全に関して守っていただきたい事項



危険

重大な人身事故を避けるために、必ずつぎのことをお守りください。

- この冷却水循環装置は安全性に十分考慮して設計・製作されていますが、ご使用にあたってはこの取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。これらを守らずに使用しますと死亡または重傷などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。
- 入力側の動力源の工事、設置場所の選定、高圧ガスの取扱い・保管および配管、溶接後の製造物の保管および廃棄物の処理などは、法規および貴社社内基準に従ってください。
- 溶接機や溶接作業場所の周囲には、不用意に人が立ち入らないようにしてください。
- 心臓のペースメーカーを使用している人は、医師の許可があるまで操作中の溶接機や溶接作業場所に近づかないでください。溶接機は通電中、周囲に磁場を発生し、ペースメーカーの作動に悪影響を与えます。
- この冷却水循環装置の保守点検・修理は、安全を確保するため、有資格者または冷却水循環装置をよく理解した人が行ってください。(※1)
- この冷却水循環装置の操作は、安全を確保するため、この取扱説明書をよく理解し、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。(※1)
- この冷却水循環装置を溶接トーチの冷却以外の用途に使用しないでください。



危険



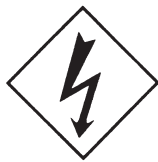
弊社製品の改造はしないでください。

- 改造によって火災、故障、誤動作による怪我や機器破損のおそれがあります。
- お客様による弊社製品の改造は、弊社の保証範囲外ですので責任を負いません。



危険

感電を避けるために、必ずつぎのことをお守りください。



* 帯電部に触れると、致命的な感電ややけどを負うことがあります。

- 帯電部には触れないでください。
- 保守点検は、必ず配電箱の開閉器によりすべての入力電源を切ってから行ってください。
- ケーブルは容量不足のものや、損傷したり導体がむきだしになったものを使用しないでください。
- ケーブルの接続部は、確実に締め付けて絶縁してください。
- 破れたり濡れた手袋を使用しないでください。常に乾いた絶縁性のよい手袋を使用してください。
- 高所で作業するときは命綱を使用してください。
- 保守点検は定期的を実施し、損傷した部分は修理してから使用してください。
- 使用していないときはすべての装置の電源を切ってください。
- この冷却水循環装置のカバーを取りはずしたまま使用しないでください。

② 安全に関して守っていただきたい事項 (つづき)



注意

回転部は、けがの原因になりますので、必ずつぎのことをお守りください。



* ファンの回転部に手、指、髪の毛、衣類などを近づけると、巻き込まれてけがをすることがあります。

- 冷却水循環装置のカバーを取りはずしたまま使用しないでください。
- 保守点検・修理などでカバーをはずすときは、有資格者または溶接機をよく理解した人が行い、溶接機の周囲に囲いをするなど、不用意に他の人が近づかないようにしてください。
- 回転中のファンに手、指、髪の毛、衣類および、金属物などを近づけないでください。

ご参考

※1 据付け・操作・保守点検・修理に関する関連法規・資格など

(1) 据付けに関して

- * 電気設備技術基準 第10条 電気設備の接地
第15条 地絡に対する保護対策
- * 電気設備の技術基準の解釈について 第17条 接地工事の種類及び施設方法
第29条 機械器具の金属製外箱等の接地
第36条 地絡遮断装置の施設
第190条 アーク溶接装置の施設
- * 労働安全衛生規則 第325条 強烈な光線を発する場所
第333条 漏電による感電の防止
第593条 呼吸用保護具等
- * 酸素欠乏症等防止規則 第21条 溶接に係る措置
- * 粉じん障害防止規則 第1条
第2条
- * 接地工事：電気工事士の有資格者

(2) 操作に関して

- * 労働安全衛生規則 第36条 特別教育を必要とする業務 第3号
- * J I S / W E S の有資格者
- * 労働安全衛生規則に基づいた教育の受講者

(3) 保守点検、修理に関して

- * 溶接機製造者による教育または社内教育の受講者で溶接機をよく理解した者

※2 保護具等の関連規格

JIS Z 3950	溶接作業環境における 浮遊粉じん濃度測定方法	JIS T 8113	溶接用かわ製保護手袋
JIS Z 8731	環境騒音の表示・測定方法	JIS T 8141	遮光保護具
JIS Z 8735	振動レベル測定方法	JIS T 8142	溶接用保護面
JIS Z 8812	有害紫外放射の測定方法	JIS T 8151	防じんマスク
JIS Z 8813	浮遊粉じん濃度測定方法通則	JIS T 8161	防音保護具

注) 法規や規格は改廃することがありますので、必ず最新版をご参照ください。

③ 使用上のご注意

3.1 使用率について



注意

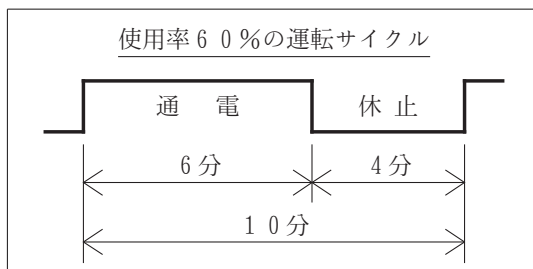
●定格使用率以下でご使用ください。

(1) 溶接電源や溶接トーチなど、他の機器の使用率によって制限されますので組み合わせて使用する機器のうちのもっとも低い定格使用率でご使用ください。

(2) 適用溶接トーチの定格使用率

溶接法	定格電流	定格使用率
T I G	3 0 0 A	1 0 0 %
	5 0 0 A	6 0 %
M I G	5 0 0 A	6 0 %
CO ₂		
M A G		

(3) 定格使用率60%とは、10分間のうち定格溶接電流で6分間使用し、4分間休止する使い方を意味しています。



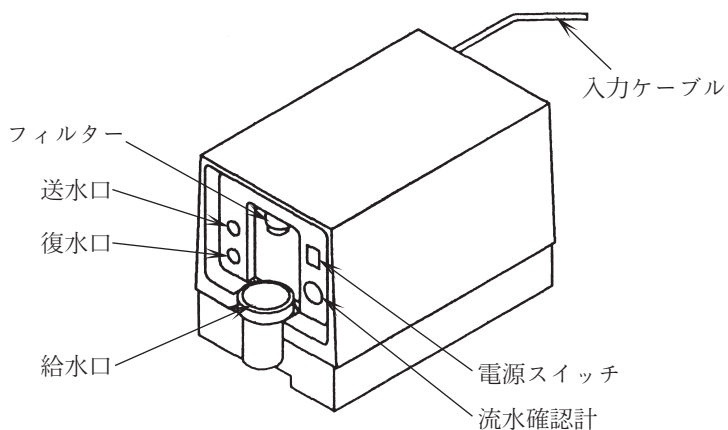
3.2 冷却水について



注意

- ダイヘン純正のクーラントをご使用ください。工業用水やよごれた水は冷却水循環装置の故障や寿命を短くするおそれがあります。
- 水道水等で希釈すると錆発生の原因となりますので使用しないでください。
- 他の不凍液と混合して使用しないでください。
- 自動車用の不凍液は使用しないでください。
- 万一飲み込んだ場合は多量の水または食塩水を飲ませ、吐き出させ医師の診断を受けてください。
- 誤って皮膚に付着したり目に入った場合は直ちに清水で15分程度洗い、医師の診断を受けてください。
- 廃液は、総理府令による排水基準「生活環境項目」の生物学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）の許容値をオーバーすることから、下水道、河川等に廃棄することができません。
- 廃棄処理については、廃棄処理業者に依頼し、処理してください。

④ 各部の名称



⑤ 運搬と設置



注意

冷却水循環装置の運搬にあたっては、必ずつぎのことをお守りください。

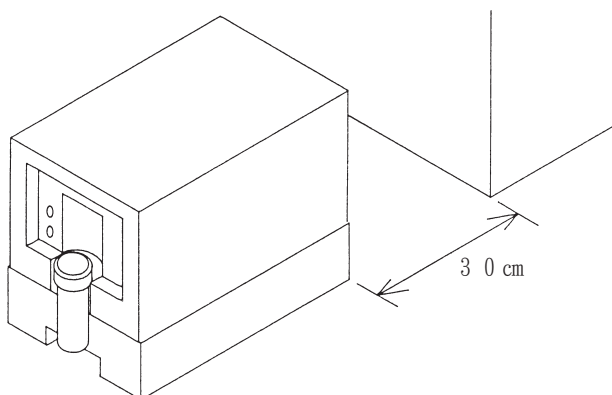
- 冷却水を入れた状態で移動させると水漏れする場合があります。冷却水を抜いてから移動させてください。



注意

冷却水循環装置の設置にあたっては、必ずつぎのことをお守りください。

- 直射日光や雨が当たらない場所に設置してください。
- 壁から少なくとも30 cm以上離して設置してください。
- 電源に搭載する場合、落下しないように固定してください。
- 周囲温度が0℃～40℃の場所に設置してください。
- 溶接電源、送給装置、トーチ、制御ケーブル（延長ケーブル含む）は水のかからないように設置してください。

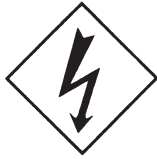


⑥ 接続方法と安全のための接地



危険

感電を避けるために、必ずつぎのことをお守りください。

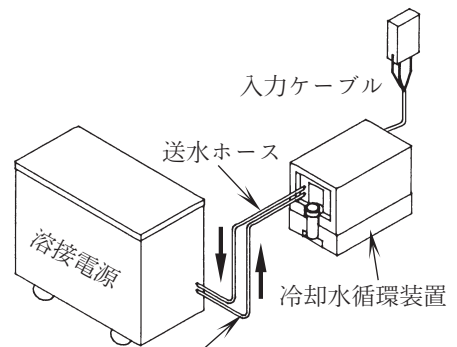
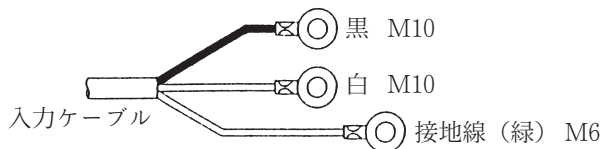


帯電部に触れると、致命的な感電ややけどを負うことがあります。

- 帯電部には触れないでください。
- 電気工事士の資格を有する人が法規（電気設備技術基準）に従って接地工事をしてください。
- 接地と接続作業は、配電箱の開閉器によりすべての入力電源を切ってから行ってください。
- ケーブルは容量不足のものや、損傷したり導体がむきだしになったものを使用しないでください。
- ケーブルの接続部は、確実に締め付けて絶縁してください。
- 本機は単相入力です。入力ケーブルの緑色ケーブルは接地線です。接地線は必ず接地してください。接地線は絶対に電源ラインに接続しないでください。

6.1 開閉器から入力電源を取る場合

- ①リード線（黒、白）をAC200Vに接続してください。
- ②接地線（緑）は開閉器箱の接地端子に接続するかまたは、D種接地工事を行ってください。

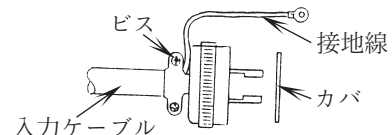
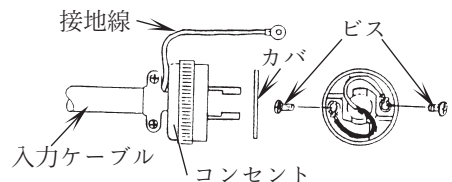
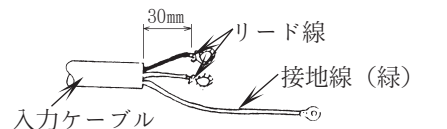


6.2 溶接電源から入力電源を取る場合

ご使用の溶接電源にAC200Vコンセントがある場合に限り、冷却水循環装置の入力ケーブルに「コンセント」（別売品）を取り付け、溶接電源後面のAC200Vコンセントに差し込んでください。詳細は、溶接電源取説をご確認ください。

[コンセントの取付方法]

- ①リード線（黒、白）を切断し被覆をはがしてください。
- ②接地線（緑）は切断しないでください。
- ③リード線をビスが挿入できるように輪を作ってください。
- ④コンセントのカバーを外してください。
- ⑤入力ケーブルをコンセントに通してください。また、接地線はコンセント後部から引き出してください。
- ⑥リード線をビス止めしてください。
- ⑦カバーを取り付け、入力ケーブルをビスで固定してください。



⑦ 操 作



注 意

- この冷却水循環装置の操作は、この取扱説明書の内容をよく理解し、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。
- 空運転は、冷却水循環装置の故障や寿命を短くするおそれがあります。
- 定格使用率以下でご使用ください。定格使用率を超えた使い方をすると、冷却水循環装置が劣化・焼損するおそれがあります。



注 意

- 圧縮エアにて排水する場合に、規定の条件を超えて作業すると、流水確認計が破損するおそれがあります。

7.1 給 水

- (1) 給水カバーを外し給水を行ってください。
(注) 給水中は、給水口から水がこぼれないように特に注意してください。
- (2) 給水は水量を監視し、オーバーフローさせないでください。
(注) 給水量はフタ上面より少し空間（5.5～6.5mm）が出来る程度が適量です。
満水はオーバーフローの原因となります。（タンク容量 11ℓ）
- (3) 給水カバーを取り付けてください。

7.2 運 転

7.2.1 開閉器から入力電源を取る場合

- ・冷却水循環装置の単独運転となります。
パネル面のスイッチでON、OFFし運転してください。

7.2.2 溶接電源から入力電源を取る場合

- ・溶接電源と連動させることができます。冷却水循環装置のスイッチをONにしておきますと、溶接電源のスイッチにより冷却水循環装置が動作します。

7.3 流 水 確 認

運転中、流水確認計で冷却水が流れていることを確認してください。

7.4 水 量 確 認

運転開始後、タンク内の冷却水を確認し、減っていたら冷却水を補充してください。

7.5 排 水

7.5.1 流水確認計の排水


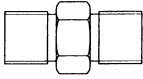
- ・圧縮エアを使用して配管内の排水を行う場合は、流水確認計の破損を防ぐためにエア圧力0.2MPa未満で1分以内に作業を終わらせてください。
(注) 流水確認計を必要以上に高速回転させると破損の原因となります。
なお、一般的な圧縮エアの圧力は0.2MPa以上となっておりますので、必ずレギュレータ等で減圧してください。

7.5.2 配管内の水抜き


- ・事前にタンク内の冷却水を抜いてから作業を行ってください。配管内の冷却水がタンクに戻った際にタンク給水口から冷却水があふれ出ないように注意してください。

⑧ 別 売 品

(1) 水ホースキット

キットNo.	構	成
BBPU-3002	溶接電源接続用 水ホース(2m)…2本 	デジタルシリーズ電源接続用 ホースニップル…1ヶ 

(2) コンセント

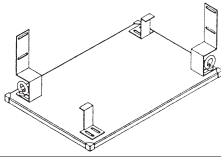
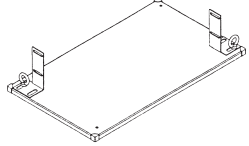
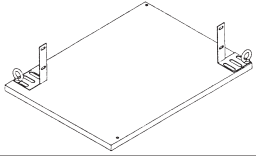
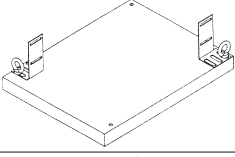
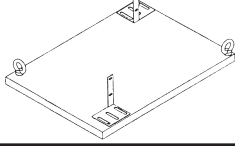
キットNo.	構	成
BBPU-3010	入力電源取り出し用コンセント 	〔溶接電源からAC200Vを取り出す場合に使用します。〕

(3) 不凍液(ダイヘンスーパークーラント)

品 名	部 品 番 号
ダイヘンスーパークーラント一般地用(10ℓ)	2670-033
ダイヘンスーパークーラント寒冷地用(10ℓ)	2670-034

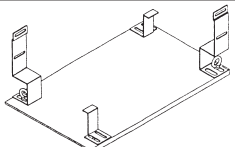
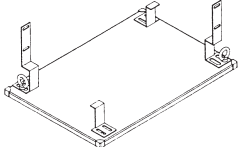
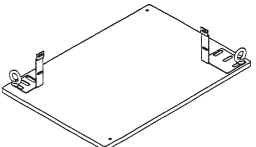
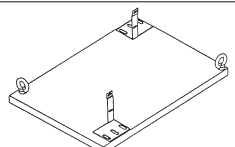
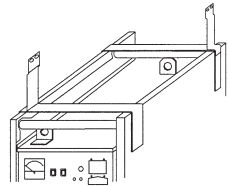
(-15℃以下になる寒冷地には、寒冷地用を使用してください)

(4) 取付ブラケットキット


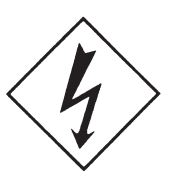


溶 接 電 源	ブラケットキットNo.	取 付 方 法
VRT-300(S-2) VRTP-300(S-5)	BBPU-3011	
AVP-300(S-3)(S-4) CPVPA-350(S-1) CPDP-500(S-1) CPDPA-350(S-1) CPDPA-500(S-1)	MRHP-300(S-1) CPVWP-350(S-1) CPDWP-350(S-1) CPDWP-500(S-1) BBPU-3012	
AVP-500(S-2)、(S-3) CPV-600(S-2) CPVP-500(S-1) CPVWP-500(S-1)	BBPU-3013	
AES-300(S-1) AEP-300(S-1) AEP-500(S-1) TRA-500(S-1) MRHS-500(S-1)	BBPU-3014	
CPXS-600(S-1) CPXSH-600(S-1) CPXSG-600(S-1)	BBPU-3015	

⑧ 別 売 品 (つづき)

(4) 取付ブラケットキット

溶 接 電 源		ブラケットキットNo.	取 付 方 法
VRTP-300 (S-4) VRTPL-300 (S-1)		BBPU-3016	
AVP-300 (S-2)		BBPU-3017	
AES-300 (S-2) AEP-300 (S-2)	CPXDG-500 (S-1) CPXD-500 (S-1) CPXD-500 (S-2)	BBPU-3018	
AEP-500 (S-2) CPXDG-600 (S-1) CPXD-600 (S-1)		BBPU-3019	
VRTP-300 (S-6)		BBPU-3021	

⑨ メンテナンス

 危険	感電を避けるため、必ずつぎのことをお守りください。
	<ul style="list-style-type: none">●帯電部には触れないでください。●冷却水循環装置内部の部品に触れるときは、必ず配電箱の開閉器によりすべての入力電源を切ってから行ってください。●保守点検は定期的の実施し、損傷した部分は修理してから使用してください。●保守点検・修理は安全を確保するため有資格者または冷却水循環装置をよく理解した人が行ってください。
 注意	回転部は、けがの原因になりますので、必ずつぎのことをお守りください。
	<ul style="list-style-type: none">●保守点検・修理などでカバーをはずすときは、有資格者または冷却水循環装置をよく理解した人が行い、冷却水循環装置の周囲に囲いをするなど、不用意に他の人が近づけないようにしてください。●回転中のファンに手、指、髪の毛、衣類および、金属物などを近づけないでください。

●冷却水循環装置を安全に能率よく使用するために、定期的な保守・点検を心がけるようにしてください。

(1) 日常の注意事項

- ①溶接トーチまたは、ホースがつまっていませんか。
- ②タンク内に水が十分入っていますか。
- ③異常な振動、うなり、臭いはありませんか。
- ④ケーブルの接続部に異常な発熱はありませんか。
- ⑤ファンは電源スイッチを入れたときに、円滑に回転しますか。
- ⑥スイッチに動作不良はありませんか。
- ⑦ケーブルの接続および絶縁の仕方に手落ちはありませんか。
- ⑧ケーブルに断線しかけているところはありませんか。

(2) 定期的に点検するポイント

- ①1カ月に1回くらいはラジエータやフィルターおよび、内部を掃除してください。
- ②6カ月に1回は、新しい冷却水に交換してください。

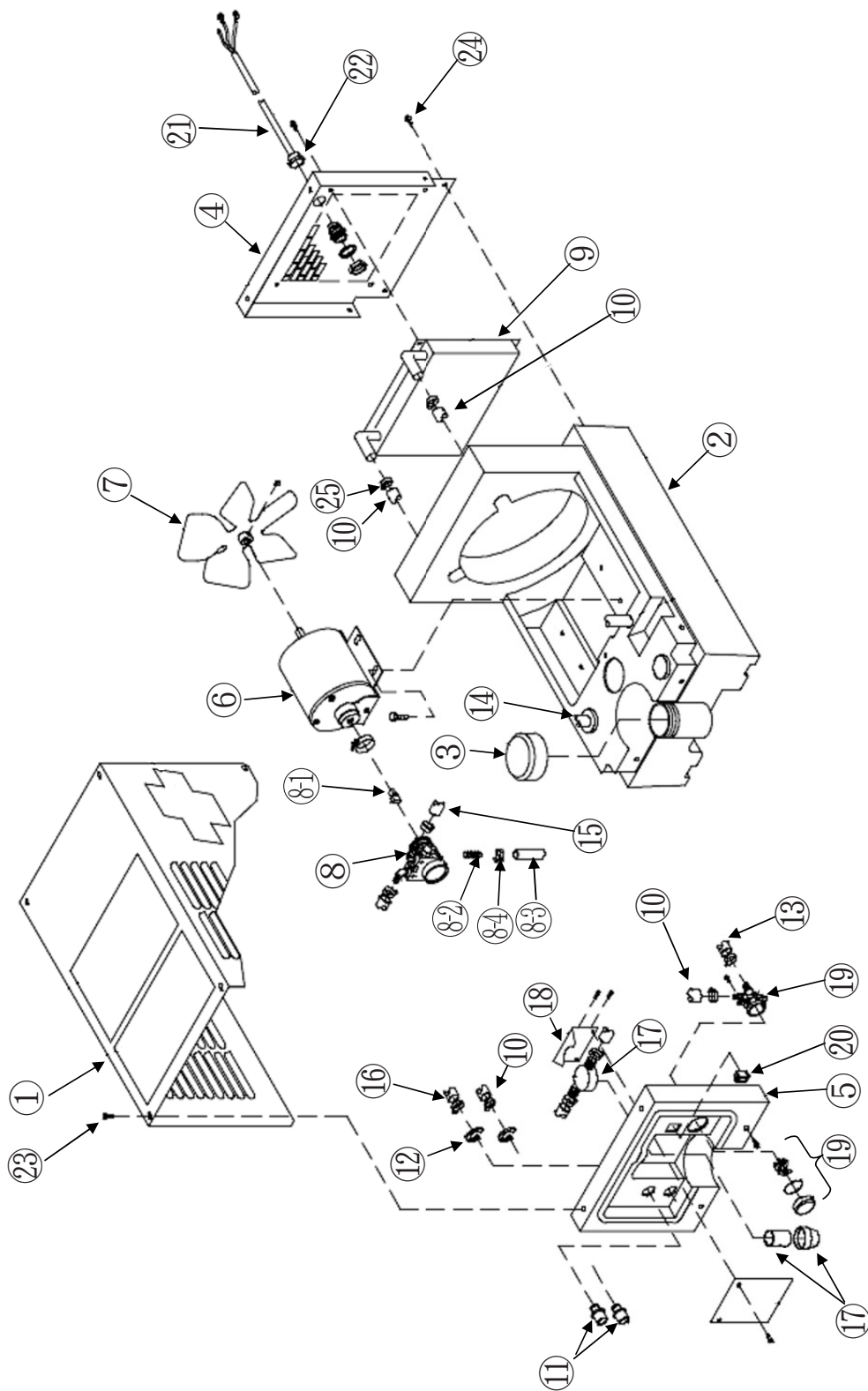
[交換方法]

・給水ホースの電源側を外し、冷却水循環装置を運転し、古い冷却水を完全に抜き、きれいな水で洗浄した後、新しい冷却水を注入してください。

(注) 圧縮エアを使用して配管内の排水を行う場合は、流水確認計の破損を防ぐためにエア圧力0.2MPa未満で1分以内に作業を終わらせてください。

- (3) 送水ホース、復水ホースを交換の際は、ねじ式ホースバンド (U4285D08) を使用して締結してください。

⑩ パーツリスト



⑩ パーツリスト (つづき)

- 補修に必要な部品は、品名、部品番号を販売店または営業所にお申し付けください。
別売品については8項をご参照ください。

●部品の供給年限に関して
本製品の部品の最低供給年限は、製造後7年を目安にしております。
ただし、他社から購入して使用している部品が供給不能となった場合には、
その限りではありません。

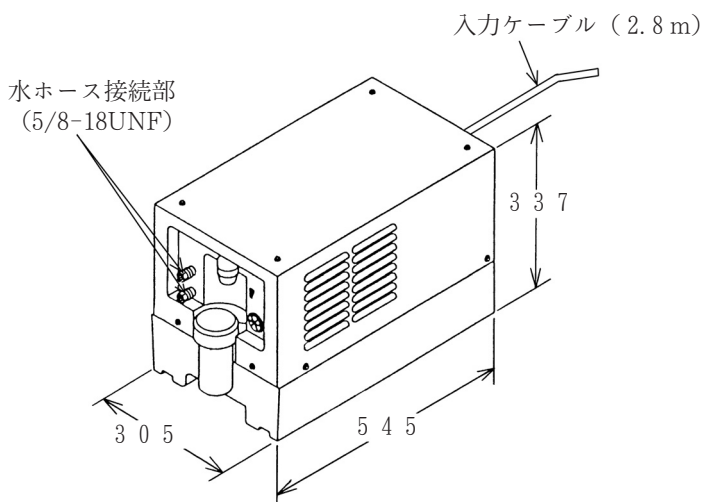
照合	部品番号	品名	所要量	備考
1	U4285B01	カバ	1	
2	U6090B02	タシク	1	
3	U4285B03	給水カバ	1	
4	U4285B04	後板	1	
5	U4285B05	フロントパネル	1	
6	U4285C01	モータ	1	
7	U4285C02	ファン	1	
8	U6090D00	ポンプ	1	カプラ、ノズル、ホース、ホースクランプ 含む
8-1	U3715C04	カプラ	(1)	
8-2	U4285D05	ノズル	(1)	
8-3	U4285D06	ホース	(1)	
8-4	U4285D07	ホースクランプ	(1)	
9	U4285E01	ラジエータ	1	
10	U6090F01	復水ホース (1)	2	ラジエータ～流水確認計、43cm
11	U4285F02	フィッティング	2	
12	U4285F03	リング	2	
13	U6090F04	復水ホース (2)	1	流量確認計～タンク、21cm
14	U6090F05	送水ホース (1)	1	タンク～フィルタ、38cm
15	U6090F06	送水ホース (2)	1	フィルタ～ホソフ、27cm
16	U6090F07	送水ホース (3)	1	ホソフ～送水口、13cm
17	U4285G01	フィルター	1	
18	U4285G02	フィルター取付板	1	
19	U6090H01	流水確認計	1	組立品
20	U4285J01	電源スイッチ	1	
21	U6090J02	入力ケーブル	1	
22	U4285J03	ブッシング	1	
23	U6090B07	ケースビス	8	
24	U4285B08	パネルビス	4	
25	U4285D08	ホースバンド	11	

※保守などによりホースを交換する際は、組込みのワンクランプバンドの代わりにねじ式ホースバンド (U4285D08) を使用してください。

⑪ 仕 様

形 式	PU-301
定格入力電圧(相数)	200V (単相)
入 力 電 圧 範 囲	180~220V
定 格 周 波 数	50/60Hz 共用
定 格 入 力	0.72kVA、0.3kW(50Hz) 0.44kVA、0.3kW(60Hz)
出 力	330W
吐 出 量	5.2/6.2 ℓ/分
吐 出 圧 力	0.41 MPa
冷 却 能 力	246 kJ/分
冷 却 方 法	ラジエータ強制空冷
定 格 使 用 率	連続(定格入力電圧時)
タ ン ク 容 量	11 ℓ
外形寸法(W×D×H)	305×545×337 mm
質 量	19 kg

注)・50Hz地域でご使用の場合で、かつ入力電圧が200Vを超える場合、本機内蔵のモータの定格電流値を超える場合があり、周囲温度など適切な環境下でご使用の場合でも、保護停止がかかる可能性があります。



冷却水循環装置外形図

⑫ アフターサービスについて

◆ 保証書

(別に添付しております。)
保証書は必ず内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

なお、保証登録票は必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返却ください。

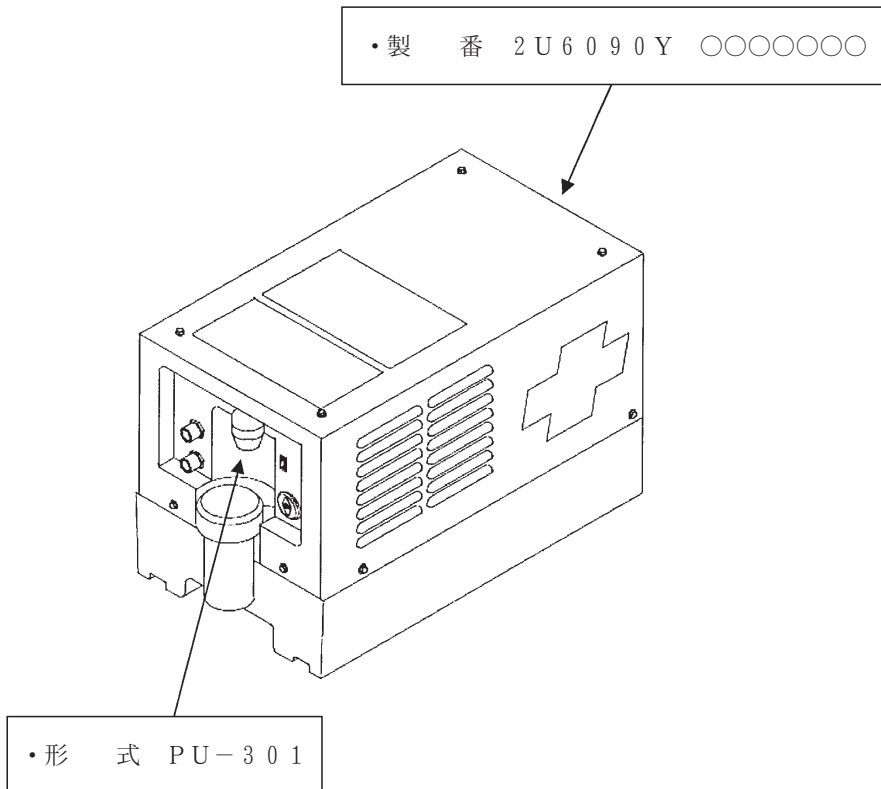
保守点検・修理のご用命は、ダイヘンテクノスの各サービスセンターへご連絡ください。

◆ 修理を依頼される時

1. 9項の「メンテナンス」に従って、不具合の内容を調べてください。

2. 連絡していただきたい内容

- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・形式
- ・製造番号
- ・故障または異常の詳細内容



長年培った溶接技術・ノウハウを活かした製品ラインナップで

皆様の多様なニーズにお応えし、ダイヘンならではのソリューションをご提供します。



ダイヘンサービス網一覧表

当社製品のアフターサービス及び溶接技術に関するお問い合わせは、
ダイヘンテクノスの各サービスセンターへご用命ください。

株式会社 **ダイヘンテクノス**

☎658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4丁目1番 ☎(078)275-2043 FAX(078)845-8205

北海道サービスセンター ☎003-0022 北海道札幌市白石区南郷通1丁目南9番5号 ☎(011)846-2650 FAX(011)846-2651
 東北サービスセンター ☎981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央4丁目7-7 ☎(022)218-0391 FAX(022)218-0621
 大宮サービスセンター ☎330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋2丁目16番 ☎(048)651-0048 FAX(048)651-0124
 東京サービスセンター ☎242-0001 神奈川県大和市下鶴間2309-2 ☎(046)273-7000 FAX(046)273-7005
 長野サービスセンター ☎399-0034 長野県松本市野溝東1丁目11番27号 ☎(0263)28-8080 FAX(0263)28-8271
 静岡サービスセンター ☎430-0852 静岡県浜松市中区領家2丁目12番15号 ☎(053)468-0460 FAX(053)463-3194
 中部サービスセンター ☎464-0057 愛知県名古屋市中千種区法王町1丁目13番地 ☎(052)752-2366 FAX(052)752-2771
 豊田サービスセンター ☎473-0932 愛知県豊田市堤町寺池上70番地1 ☎(0565)53-1123 FAX(0565)53-1125
 北陸サービスセンター ☎920-0027 石川県金沢市駅西新町3丁目16番11号 ☎(076)234-6291 FAX(076)221-8817
 六甲サービスセンター ☎658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4丁目1番 ☎(078)275-2043 FAX(078)845-8205
 岡山サービスセンター ☎700-0951 岡山県岡山市北区田中133-101 ☎(086)805-4742 FAX(086)243-6380
 中国サービスセンター ☎733-0035 広島県広島市西区南観音2丁目3番3号 ☎(082)503-3378 FAX(082)294-6280
 四国サービスセンター ☎764-0012 香川県仲多度郡多度津町桜川1丁目3番8号 ☎(0877)56-6033 FAX(0877)33-2155
 九州サービスセンター ☎816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目1番8号 ☎(092)583-6210 FAX(092)573-6107

ダイヘン溶接メカトロシステム株式会社

北日本営業部(東北FAセンター) ☎981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央4丁目7-7 ☎(022)218-0391 FAX(022)218-0621
 札幌営業所(北海道FAセンター) ☎003-0022 北海道札幌市白石区南郷通1丁目南9番5号 ☎(011)846-2650 FAX(011)846-2651
 釧路営業所 ☎085-0035 北海道釧路市共栄大通9丁目1番K&Mビル1011号室 ☎(0154)32-7297 FAX(0154)32-7298
 関東営業部(大宮FAセンター) ☎330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋2丁目16番 ☎(048)651-6188 FAX(048)651-6009
 北関東営業所 ☎323-0822 栃木県小山市駅南町4丁目20番2号 ☎(0285)28-2525 FAX(0285)28-2520
 新潟営業所 ☎950-0941 新潟県新潟市中央区女池7丁目25番4号 ☎(025)284-0757 FAX(025)284-0770
 太田営業所 ☎373-0847 群馬県太田市西新町14-10(㈱ナチロボットエンジニアリング内) ☎(0276)61-3791 FAX(0276)61-3793
 東京営業部 ☎105-0002 東京都港区愛宕1丁目3番4号(愛宕東洋ビル10階) ☎(03)5733-2960 FAX(03)5733-2961
 千葉営業所 ☎273-0004 千葉県船橋市南本町7-5(ストックマンション1階) ☎(047)437-4661 FAX(047)437-4670
 横浜営業所(東京FAセンター) ☎242-0001 神奈川県大和市下鶴間2309-2 ☎(046)273-7111 FAX(046)273-7121
 長野営業所 ☎399-0034 長野県松本市野溝東1丁目11番27号 ☎(0263)28-8080 FAX(0263)28-8271
 中部営業部(中部FAセンター) ☎464-0057 愛知県名古屋市中千種区法王町1丁目13番地 ☎(052)752-2322 FAX(052)752-2661
 富士営業所 ☎417-0061 静岡県富士市伝法3088-6 ☎(0545)52-5273 FAX(0545)52-5283
 静岡営業所(静岡FAセンター) ☎430-0852 静岡県浜松市中区領家2丁目12番15号 ☎(053)463-3181 FAX(053)463-3194
 豊田営業所 ☎473-0932 愛知県豊田市堤町寺池上70番地1 ☎(0565)53-1123 FAX(0565)53-1125
 北陸営業所(北陸FAセンター) ☎920-0027 石川県金沢市駅西新町3丁目16番11号 ☎(076)221-8803 FAX(076)221-8817
 関西営業部(六甲FAセンター) ☎658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4丁目1番 ☎(078)275-2030 FAX(078)845-8201
 京滋営業所(京滋FAセンター) ☎520-3024 滋賀県栗東市小柿7丁目1番25号 ☎(077)554-4495 FAX(077)554-4493
 中国営業部(広島FAセンター) ☎733-0035 広島県広島市西区南観音2丁目3番3号 ☎(082)294-5951 FAX(082)294-6280
 岡山営業所(岡山FAセンター) ☎700-0951 岡山県岡山市北区田中133-101 ☎(086)243-6377 FAX(086)243-6380
 福山営業所 ☎721-0907 広島県福山市春日町2丁目8番3号(ハイグレース山口103号) ☎(084)941-4680 FAX(084)943-8379
 四国営業部(四国FAセンター) ☎764-0012 香川県仲多度郡多度津町桜川1丁目3番8号 ☎(0877)33-0030 FAX(0877)33-2155
 九州営業部(九州FAセンター) ☎816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目1番8号 ☎(092)573-6101 FAX(092)573-6107
 長崎営業所 ☎850-0004 長崎県長崎市下西山町10番6号(大蔵ビル101号) ☎(095)824-9731 FAX(095)822-6583
 南九州営業所 ☎869-1101 熊本県菊池郡菊陽町津久礼2268-38 ☎(096)233-0105 FAX(096)233-0106
 大分営業所 ☎870-0142 大分県大分市三川下2丁目7番28号(KAZUビル) ☎(097)553-3890 FAX(097)553-3893



溶接機事業部 ☎658-0033 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4丁目1番 ☎(078)275-2004 FAX(078)845-8199